



# 新年のご挨拶

大衡村長 萩原達雄



明けましておめでとございます。  
新しい年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい一年になることをお祈りしながら、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
村民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

はじめに、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災から、早いもので5年10カ月が経過しようとしております。被災された全ての皆様方には改めて心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を願うものであります。

昨年の稲作の宮城県全体の作況指数は「105」の「やや良」となり、「昨年」に引き続きの豊作で稲作農家の皆様は安堵されたことと思います。しかしながら、恒常的な農産物価格の低迷など、農業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあり、生産者としての自助努力がより一層求められる時代になってきております。今後も、農家の皆様が安定して農業経営ができるよう、地域農業の更なる活性化を図りながら、引き続き出来る限りの支援をして参ります。

自治体の自主財源の確保と雇用機会の増加に繋がる企業誘致活動では、自動車関連等の製造業を中心に企業立地が進んでおり、昨年は松原地区内の大衡工業団地に物流の大手である「全農物流株式会社」の立地が決定し、今年9月の営業開始に向けて、現在、順調に

建設工事が進んでおります。同社の本村への進出は、農業振興と企業誘致を最重要施策としている本村にとって大変心強いものであります。企業立地が進む本村は、村井知事が推進する「富県宮城」の中核としての姿が実現しつつあり、今後も引き続き企業誘致活動には積極的に取り組むと共に、村内既存企業と新規立地企業との効果的な連携を視野に企業間相互の共存共栄が図られるよう努めて参ります。

本村の人口増加に直結する定住化促進については、住宅団地「とさわ台」の92区画が平成25年夏に全て完了しました。企業立地の増加や若年層の本村への住宅ニーズの高まりなどを受けて、平成27年度より塩浪地内に整備を進めている108区画の新たな住宅団地は、昨年11月に造成が完了し、現在は春以降の分譲開始に向けて道路や上下水道のインフラ整備を進めており、更なる定住促進を図って参ります。

国道4号の4車線化拡幅事業については、大衡中学校前から大崎市三本木境まで約5kmの現道拡幅事業化が昨年4月に決定し、現在測量等調査及び設計が進められているところです。今後とも、国に対して渋滞状況などの地域の課題について強く訴えていくとともに、大崎市などの県内自治体及び村内立地企業と連携しながら、早期着工に向けて粘り強く要望して参ります。

村内の水害対策については、国では、平成27年9月の関東・東北豪雨を受け、昨年11月に「鳴瀬川水系河川整備計画」を見直しております。新たな整備計画では、吉田川上流部に遊水池群を設けるとの内容が盛り込まれており、具体的計画を検討するため、現在測量等の調査が進められているところです。村といたしましても情報収集を行いながら適切な水害対策となるよう、国に対して強く働きかけをして参ります。

本村では、未来の世代を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、「18歳まで医療費の助成」を行っており、昨年1月からは、妊婦へのタクシー利用券の助成を拡大し、紙オムツや粉ミルクの購入も可能とした万葉のびのび子育て支援券の交付を行い、子育て支援の拡充を図っております。また、民設民営の「認定こども園」は、全国に先駆けて取り組んでおり、平成23年4月に保育園部、平成24年4月には幼稚園部が開園し、「おおひら万葉こども園」として順調に運営され、また昨年6月には小規模保育施設「万葉にこにこ保育園」を開園し、子育て中の保護者の皆様が安心して働ける環境を整えており、乳幼児の健全育成と待機児童解消に大きな役割を果たしております。このように、本村は子育て支援「日本一」を自負しておりますが、今後も更なる住民福祉の向上に努めて参ります。

「万葉クリエートパーク」は、平成16年に開園以来、人々の憩いの場として、連日、村内外から多くの方々が来園されております。中でも、東北で最大規模の「おおひら万葉パークゴルフ場」は、地域住民の交流、職場の福利厚生等々として幅広く利用され、平日は約300人、土日では400人を超す愛好者の方々が大変な賑わいがあり、コース状態についても利用者の皆様から、お褒めの言葉を頂いており、今後もパークゴルフの輪が一層拡大することを期待しております。

また、現在トヨタ自動車株式会社を中心に第二仙台北部中核工業団地で取り組まれている「F-1グリッド構想」では、トヨタ自動車東日本株式会社大衡工場が発電された電力を工業団地内の7社で効率的に活用し、また災害等で停電になった場合に役場周辺にも送

電できるシステムが作られ、災害に強い「まちづくり」が更に強化されていきます。今後も、「F-1グリッド構想」と連携した安全で安心な「まちづくり」と、地域コミュニティのスマート化の促進に向けて、尚一層、取り組んで参ります。

陸上自衛隊王城寺原演習場は、村民皆様方のご理解のもと、自衛隊や沖縄駐留米軍などの訓練の場として安定使用されておりますが、地元の不安解消に万全を期すよう、国に対して強く要請しておりますので、引き続き皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。また、同演習場から起因する障害防止対策事業や村内全域を対象とする諸事業は、今後も、関係機関との連携による対策や、防衛省補助事業に積極的に取り組んで参ります。

本村の財政内容は皆様方のご協力によりまして、毎年度黒字決算となっております。県内においても本村は財政状況が大変良好な自治体となっております。特に自動車関連をはじめとして製造業などの企業立地が相次ぎ、自主財源比率が年々高まっております。今後は中長期的な視点に立った財政運営を行い、生活環境の整備や福祉向上、基幹産業である農業振興のために、更なる取り組みを行って参ります。

結びに、今年で村制施行128年目になる大衡村の限らない発展と地方創生の実現を目指し、諸施策を全力投球で推進し、村民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせる、「みんなで創る新たな万葉の里おおひら」が実感できるような、村政に邁進して参りますので、尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

